

ディボーション質問表



今週の16～18章は、「地の果て（使徒1：8）までの宣教」（13～28章）の一部で、パウロの第二回伝道旅行（13～14章）の箇所です。第二回伝道旅行の地図は下記のページを参考にしてください。 <http://scriptures.lds.org/jpn/biblemaps/13>

22日（月）使徒の働き 15：36～16：15節 出発

1. 36～41節にパウロが第二回目の伝道旅行に出発することになった経緯が書かれています。パウロの思いと実際の旅行のコースを比べてみましょう（地図参照）。
2. なぜ、パウロはテモテに割礼をさせたのでしょうか？ 救いは、割礼によってくるのでしょうか（1～3節）？（1コリント9：19～23を参照）
3. パウロたちが新しい地域（マケドニア）へ行くことになった経過をみてみましょう（6～12節）。パウロが使徒であったとしても、彼は決定する際にメンバーと何をしていますか（10節）？

23日（火）使徒の働き 16：16～40節 ピリピでの投獄

1. パウロたちが経験した難関はどのようなものでしたか？ それに対してどのように対処しましたか（16～18節）？
2. パウロたちはさらに激しい難関を経験しました。今回はどのようにそれらに対処していますか（19～26節）？
3. パウロたちが難関を解決したあと、何が起こりましたか？ 彼らはどんな祝福を受け取っているのでしょうか（27～34節）？

24日（水）使徒の働き 17：1～15節 テサロニケ、ベレヤ

1. テサロニケでのパウロたちの活動を観察してみましょう。彼らはどのように救い主の知らせを広めているのでしょうか（1～4節）？ また、テサロニケの人々はパウロたちのことばを聞いたとき、どのような態度で受け取ったのでしょうか（1テサロニケ2：13を読む）？
2. ベレヤでのパウロたちの活動を観察してみましょう。ベレヤの人々の反応はどうでしたか？ 彼らの反応の特徴はどのようなものでしたか（10～15節）？
3. 次の箇所（16：14、17：4、12）から彼らの特徴をあげてみましょう。そして救われた後の彼らの行動と比べてみましょう。

25日（木）使徒の働き 17：16～34節 アテネ

アテネに住むエピクロス主義者とは沈黙（調和）が最上の善であると信じる人々です。そして、ストア派の人とは、いのちは欲求から自由にならないこと、人生は運命があり避けられないものとして、運命を受理しなければならない（宿命論：あきらめ）を信じる人々のことです。

1. パウロがこのような人たちに福音を伝えるために用いた方法はどのようなものでしたか？
2. アテネにおけるパウロの宣教の結果はどのようなものでしたか？ アテネの人々はなぜこのような反応をしたと思いますか？

26日（金）使徒の働き 18：1～11節 コリント

1. コリントでのパウロの宣教の様子が書かれています。パウロがそこで出会った人々は誰でしょうか？ 彼らはどのような人々でしたか（1～4節）？
2. シラスとテモテが来てからのパウロの宣教の様子はどのようなものでしたか？ その結果はどのようなものでしたか？ 9～10節の幻はパウロにどのような影響をもたらしたと思いますか？

27日（土）使徒の働き 18：12～23節 アンテオケへの帰途

1. パウロが地方総督ガリオの前に訴えられた時の出来事を観察しましょう。ユダヤ人やガリオの姿から避けるべき姿を見つけましょう（12～17節）。
2. パウロたちは22節で伝道旅行の出発地であるアンテオケに戻っています。その前にエルサレムに寄ってあいさつをしているのはなぜだと思いますか（18～23節）？